



IFLA（国際図書館連盟）
児童・ヤングアダルト図書館分科会より

絵本で知る世界の国々：第3版改訂作業への協力をお願い

プログラム「絵本で知る世界の国々」の目的

IFLA 国際図書館連盟児童・ヤングアダルト図書館分科会では、絵本を通じた国際理解の促進のため、図書館司書をはじめとする子どもと本に関わる人々が勤める、[世界の絵本のリスト](#)を作成しています。このリストは以下のように活用されることを想定しています。

- 参加各国の言語、文化、そして質の高い子どもの本に親しみ、普及を図る手段として活用する。
- 諸外国の本を選書したり、または学んだりしたいときに活用される。
- 当分科会「[姉妹図書館](#)」プロジェクトで、姉妹図書館の国の子どもの本について知る手段として活用する。

このたび、当分科会で、このリストの改訂第3版を作成することになりました。日本もこの取組に参加すべく、日本担当コーディネーターである日本図書館協会児童青少年委員会と、当分科会国内常任委員が協力して取りまとめを行い、10冊のリスト作成を進めたいと考えています。

つきましては、子どもと本に関わる皆様に選書にご協力いただきたく、以下の通りお願いします。

採録の基準（日本版）

お好きな日本の絵本を10冊以内でご推薦ください。推薦本の基準は次のとおりです。

- 0歳から18歳までの子どもたちに適していること
- 時の試練に耐えた「古典」、または「これから古典になる」本をそれぞれバランスよく含むこと
- その国の出版文化の粋を表すものであること
- 原書がその国で出版され、その国の言語で書かれていること
- 良質で高い出版基準を満たし、声に出して読んで優れていること
- 文と絵が互いに補完し合っていること。しかし、文字なし絵本も除外しない
- 肯定的なメッセージを表していること
- 現在も刊行され、購入できること
- 物語絵本、昔話絵本のほか、赤ちゃん絵本、科学絵本、写真絵本、文字なし絵本などにも配慮すること
- 平和やSDGsを意識した絵本を含めること

各絵本について必要な情報

各絵本について、以下の情報をリンク先の[Google フォーム](#)に入力してお送りください。

・タイトル ・著者 ・画家 ・出版社

募集期間

2021年3月17日から4月30日まで（締切日を延期しました。）

お送りいただいたデータは、上記日本担当コーディネーターで整理し、上位10冊に絞り込みます。みなさまからのご推薦をお待ちしています！

（本件に関する問合せ先）naokonakajimawtpb.jp@gmail.com

（中島: IFLA 児童・ヤングアダルト図書館分科会国内常任委員・本プロジェクト担当）